

フェイス トゥ フェイス
Face to Face
あたご中学部・生活生徒指導通信

Vol.1

■ 発行の経緯と今回の内容について

保護者の方の悩みを聞いて、
私たちに何ができるかなあ…

よし！生活面に関する
情報発信ならできるかも！



保護者の方との
面談などで…

うちの子、自立
できるかなあ…



どうして家では
●●なのかな…

将来を見据えて
何を取り組めば…

● 中学部になると、特に「自分らしく自立し、社会参加しながら生きていく」ことに向き合うことが多くなります。その中で、「将来を見据え、日々の社会生活をどのように送るのか」を考えることが大切になってきます。つまり、生活面を考えることは大変重要なのです！

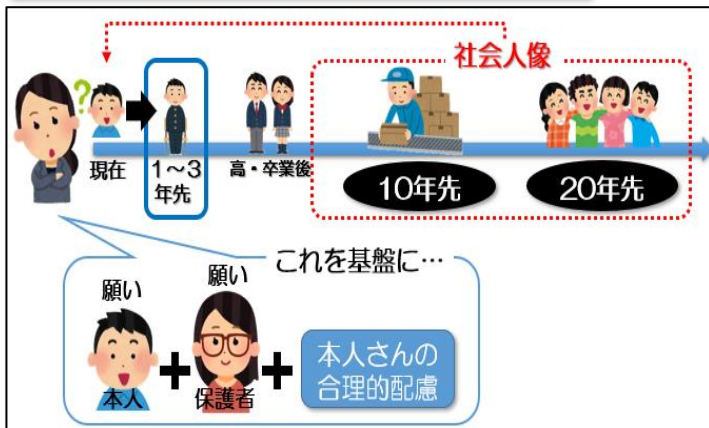
そこで、
今回は…

本人のより良い将来の姿を見据えて、日々の生活に向き合うためのポイントについてまとめました。難しい言葉もありますが、まずは、考え方や流れを共有できればと思います！



■ 将来の社会人生活を考える際のポイント

*図の参考・引用：対馬市教育委員会（2020）対馬市個別的教育支援計画作成・運用マニュアル



● **（トップダウンの視点）**：少し先の未来（社会人生活）を想像しつつ、現在から1～3年後の近い未来を考える。

*少し先の未来では、自宅から離れた生活や親亡き後等という想定もあると、より現実的です。

● その際、お子様が「今、自分一人のできること」、「自分で支援を活用して一人のできること」、「周囲の支援（環境調整）があれば適応できること」を整理していく。

*将来の暮らし方（活動や生活の場所、種類等）については、進路指導部提供の情報などを活用ください。

● トップダウンの視点で…

- ① 本人やご家族の状況を踏まえ、将来的に「どのような暮らし方をしたいか」
- ② そこに向けて、「どのような力を育み、どのような環境があればより快適に過ごせるか」
- ③ そのためには、「学校はじめ関係機関と話し、家庭ではどのようなことができそうか」



…などを考える。お子様の将来を見据えた生活面への取組がしやすくなる！

< いよいよ夏休み！ >



この期間は、お子様・ご家族にとって、いつもとは違う生活リズム「変更・変化」のある期間でもあります。「夏休みのしおり」や「夏休みの生活について（保護者配付プリント）」をご確認いただき、より良い夏休みを過ごすための見通しにつなげていただければ幸いです。昨今、メディア機器類（ゲーム機器、スマホ、タブレットなど）の使用については、ご家庭の大きな悩みの一つかと思えます。より良いルール作りが大切ですが、悩まれることも多いことでしょう。私たちも一緒に考えますので、お気軽に、担任を通じて学校にご相談ください！

*Vol.2（8月発行予定）は、「社会生活に必要な力って？」という話題を中心にお届けする予定です。